

2026 MBA サマースクール 2026.8.1^土

参加無料

定員 100名

🕒 9:00-16:00 📍 オンラインZoom開催 (要事前申込・事前登録)

HBMS(県立広島大学大学院経営管理研究科)は、2016年4月、広島に開設した、
実践的な経営・マネジメントの知識・スキルを体系的に学べる社会人のためのビジネススクールです。

2026MBAサマースクールでは、「コーポレートガバナンス」、「AIリテラシー」、「サステナブル経営」、「ブランド戦略」の4分野の講座を開講します。
また、1講座以上受講し、ご希望の方には受講証明書を発行します。全国からのご参加をお待ちしております！

9:00 - 9:20 | オリエンテーション

12:10 - 13:00 | 休憩

9:20 - 10:40 | 講義1

雪印乳業集団食中毒事件から学ぶ、 企業不祥事の本質と教訓

企業不祥事が起きると、その企業の利益優先体質、コンプライアンス意識の欠如、マニュアルの不備、隠ぺい体質などがマスコミにより強く批判されます。しかしながら、詳細に調査をしてみると報道による指摘とは異なる実態が浮かび上がってきます。実際には、当事者が何らかの理由で大丈夫だと思っていたケースが大半です。そのように考えると、なぜそう大丈夫だと考えたのかという当事者目線に立った防止策を取らないと不祥事はなくならないということになります。

この講義では、講師が数年にわたり実証研究した雪印乳業の事例などをもとに企業不祥事の裏側に迫ります。



講師 小山 厳也
県立広島大学大学院経営管理研究科 客員教授、関東学院大学学長

13:00 - 14:20 | 講義3

2030への挑戦：企業価値と 人生価値を高めるサステナブル経営

2023年の国連「SDGsサミット」では、達成が順調な目標はわずか15%と報告されました。IPCCも「2030年までに急激な変革が必要」と警鐘を鳴らしています。これらは決して遠い話ではなく、広島で働き・暮らす私たちの企業活動や生活設計にも直結する課題です。本講義では、経営に不可欠な「Sustainability Transformation(SX)」を、地域ビジネスや個人のライフマネジメントにどう活かせるのかを考えます。「サーキュラーエコノミー：資源循環型の新しい事業モデル」、「平和経営学：広島から発信できる共感・共生の経営哲学」、「地域資源マネジメントの最新事例」(農業・観光・教育など多分野での実践)を紹介し、ダイナミックに変化する経済環境のなかで、仕事の価値を高めながら自分らしく豊かに生きるための視点を一緒に探ります。



講師 吉川 成美
県立広島大学大学院経営管理研究科 教授

10:50 - 12:10 | 講義2

生成AI時代に求められる データ&AIリテラシー

生成AIの劇的な普及により、ビジネスや社会における意思決定のあり方は大きく変わりました。このセッションでは、データを正しく読み解き、AIの出力を鵜呑みにせず確実にビジネスに活用するための基本的なリテラシーを整理します。生成AI時代に求められる問いの立て方、判断力、倫理観を考え、価値創出につながる実践的な視点を紹介します。



講師 菅 由紀子
県立広島大学大学院経営管理研究科 非常勤講師、株式会社Rejoui 代表取締役

14:30 - 15:50 | 講義4

広島というブランド構築

ビジネスにおいてブランドが大切なように、地域におけるブランドも重要です。しかも地域ブランドはビジネス・ブランドと大きなシナジーをうみます。今年の夏は、敢えて「広島ブランド」とビジネスの関係について語ります。



講師 米倉 誠一郎
県立広島大学大学院経営管理研究科 教員

お申し込みはこちらから

右のQRコードを読み取り、HBMSのサマースクールのページにアクセスの上、申込フォームよりお申し込みください。 申込締切：令和8年7月31日(金)13:00

